

市民協働かわら版

No.63



十月二十三日（水）令和元年度第六回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、六名（市民三名、職員三名）の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

めっきり秋めいてきました。朝晩は少し寒いくらいです。昨年は西日本、今年は東日本で大型の台風が猛威を振るい、各地に甚大な被害をもたらしました。今もまだ復旧に取り組んでいるところがあります。ことうつし時こそ、地域のネットワークづくりの大切さが痛感されます。サロンの趣旨は仲間づくりから始まる街づくりです。多くの方の知の合点になって、住みよい街づくりをみんなで考えてみませんか。

◎地方分権

平成十二年「地方分権一括法」施行され、国と対等な立場で地域自治を進めていく方向性が示されました。自分たちの街は自分たちで考えて自分たちで創っていくということなのです。自分たちの実情にあった街づくりが自由にできる反面、都市間の生き残りになりかねない側面もあります。住みよい魅力的な街にしないと「ふるさと泉南市」が埋もれてしまうかも知れないのです。サロンでは、『魅力的な人がいる街は、自ずと魅力的になる』との思いから、魅力的な人を探しています。その人はあなたです！

◎市民協働でやっつけよう！

あなたが望む街ってどんな街ですか？一人だけで考えるだけでなく、誰かがやってくれるではなく、みんなと一緒に楽しくやってみませんか。もちろん、やる限りの責任も発生します。それは、あなたの街だからです。わからないことは仲間へ聞けばいいのです。行政も仲間です。様々な垣根を取り除いて楽しみながら、自分が暮らす街づくりを実践しましょう！

◎市民協働啓発講座

市民協働啓発講座を開催します。十一月十八日、十二月六日、十二月十四日の三回です。いずれも午前十時から十二時、街づくりのスペース・リスタートによる街づくり講座です。泉南市埋蔵文化財センターにて。

◎得意技バンク

「街道物語」「文楽講座」と文化講座をサロン主催でやってみて、市内には面白い人材がいることがよくわかりました。そういった人材を発掘するとともに繋がっていったらどう話になりませんか。得意なことがあって、誰かに伝えたいことがある方、ぜひ、サロンにお越しください！サロンでは、そういった方々と繋がりが、「得意技人材バンク」といったものを作ってみたいと思っています。登録するだけではなく、まずは講座を担当して頂きたいです。よろしく願います！

「幕末のむかしやい」

慶応四年（一八六八年）鳥羽伏見の戦いで敗れた桑名の軍隊が紀州へと敗走し、正月四日には樽井村にやってきました。村では戸締りを厳重にして通り過ぎるのをやり過ぎそうとしましたが、空腹に耐えかねた落武者達は、家々の戸を叩いて廻ったそうです。仕方なく家に入れ食事を与え、故郷の話、家族のことなどを話しているうちにすっかり打ち解け、紀州に旅立つときには、涙を流して別れを惜しみ、お礼に持ち金を置いていく者、刀を置いていく者もあつたそうです。村人達は正月のお餅やお弁当を持たせ、落ち延びていく兵士の安全を願いながら後姿を見送りました。明治になり、故郷に帰った彼らの子孫達は、もしかしたら、今も樽井村の話を代々受け継いでいるかもしれませんね。幕末の混乱する日本の片隅、和泉国は樽井村のお話です。



発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一〇一

TEL：〇七二一四八三〇〇〇四

（令和元年十一月八日発行）